

まち全体でおもてなし。世界遺産・富岡製糸場のある生糸の町にお宿が誕生！ まちの人や日常を楽しむための"まちやど"「蔭屋 MABUSHI-ya」

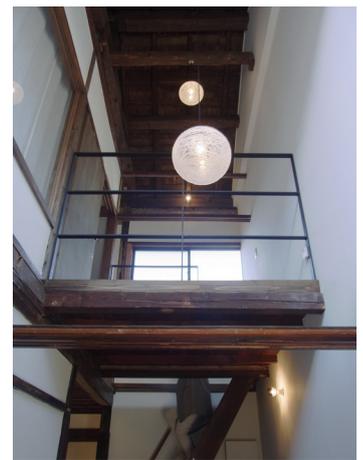


築80年の長屋が宿泊施設として生まれ変わりました

世界文化遺産の富岡製糸場がある富岡市街に、宿泊施設「蔭屋 MABUSHI-ya」が誕生しました。「蔭屋 MABUSHI-ya」は、築80年の二軒長屋をリノベーションして作られています。味わいある昔ながらの木造建物の記憶を残しつつも、快適に過ごせるよう室内環境を整え、居心地のよい宿へと生まれ変わりました。この施設の特徴は、旅館やホテルといった従来の宿泊施設に内包されている機能を持たないことです。宿にはフロントがなく、近くの洋品店にチェックインしなければなりません。食事や買い物においても全て街へ出なければなりません。これは、まちをひとつの宿と見立て、宿泊施設と地域の日常をネットワークさせ、まちぐるみで宿泊客をもてなす「まちやど」と呼ぶ取り組みによるものです。

富岡市街は世界遺産の富岡製糸場だけでなく、同じ歴史を歩んできた路地裏や商店街が残っています。そこにはレトロで味わいのある建物があり、魅力的な店主や地域の方が住んでいます。新鮮野菜を使ったイタリアンやB級グルメの「ホルモン揚げ」といった豊かな食文化も楽しめます。

世界遺産だけではなく、富岡の街をお楽しみください。



照明には蚕が繭を作るために一番最初に吐く糸「きびそ」を使用

「まちやど」について...「まちやど」とは、まちを一つの宿と見立て宿泊施設と地域の日常をネットワークさせ、まちぐるみで宿泊客をもてなすことで地域価値を向上していく事業です。街の中にすでにある資源や街の事業者をつなぎ合わせ、そこにある日常を最大のコンテンツとすることで、利用者には世界に二つとない地域固有の宿泊体験を提供し、街の住人や事業者には新たな活躍の場や、事業機会を提供することを目的とします。近代以前の宿場町では、泊まる場所、食べる場所、お風呂に入る場所、など様々な要素が集まって構成され、街道沿いに連続していました。まちやどを通して、かつての多様な宿泊体験を現代に呼び戻していきます。

詳細 >> 日本まちやど協会 URL : <http://machiya.jp/>

本リリースに関する
お問い合わせ

取材依頼、画像貸し出し、ご不明点などございましたらお気軽にお問い合わせくださいませ。

PR担当：株式会社 Casokdo 篠原礼子

住所：〒141-0033 東京都品川区西品川1丁目6番4号

E-mail : shinohara@a-ms2.com / CEL : 090-3535-9012/ FAX : 03-5436-7637

